

## (意見)

### (意見1)

数年に亘り、市民ギャラリーを利用させていただいている者として、申し上げます。創作室BCは、絵を描くスペースに洗い場や机、椅子、イーゼルや照明等々、使い易くよく考えられた施設です。

展覧会に於いてはどなたにも駅が近い事で遠方から足を運んでもらえます。特に年配者にとっては好都合です。駅近くに文化施設を置くことは、市民の交流を豊かにし、経済効果もあると思われます。

代替室のご提案がありますが、美術館・青少年施設は、駅から遠く、高砂コミュニティは絵の活動には不十分な設備です。市民ギャラリーの様な設備が整って初めて代替室と云えるのではないのでしょうか。

代替室を受入れる場合、利用者の為にマイクロバスを巡回させていただくことは出来ないのでしょうか。

利用料金を改定し、利用する側の負担もある程度やむを得ないと考えます。

以上の点を踏まえて使用の継続を今まで通りお願いします。

### (意見2)

市民ギャラリー廃止は取りやめて欲しい。

絵画に関していえば、スペース、画材の保管、予約可能期間、水道整備、照明、交通の便利さなど、この条件を凌駕した代替施設は近隣にはない。今回の方針は、行政は文化を全く理解していないと言わざるを得ない。文化は欧州では、「心の栄養」と言われ、手厚く保護されている。茅ヶ崎は近隣でも文化度の高い自治体である。市は、なぜ、市民が生涯学習の場として利用している空間を取り上げるのか理解できません。市民の財産を民間に渡すことも理解できません。財政難というが、廃止による収益の提示もない。現在の条件と同様の施設を提供できないのであれば、今回の廃止は撤回すべきである。

### (意見3)

現在の市民ギャラリーは長年、生涯学習として特に高齢者の創作活動で絵を描くことを生きがいに利用していますが、現状からするととても利用しやすい場所、環境にあります。起案についての代替え案ですが、利用している5階創作室だけは2案とも私どもにとって利用、活動しがたいものです。人数、イーゼル、机、椅子、収納部屋、備品棚、照明、広さ、画材の洗い場、駅から近い・・・これだけの対応、いい設備環境だから続けていけるのです。

今回の行財政運営としての市民ギャラリー廃止案は、単なる無作為に抽出した市民へのアンケートの結果や近年の利用実績をもとに廃止を検討されていますが、利用している者として利用者不在の思いやりの無さを感じざるを得ません。

無作為に抽出した方々について創作活動をやっておられるかを問えば少ないのは当然でしょう、アンケートの結果や利用率が少ないから・・・と、市民ギャラリーを廃止する、これでは余りに拙速過ぎで廃止ありきに思えます・・・むしろ、本件は内容からして利用している団体やサークル、関係する方々の意見を中心に聞いて欲しいものです。

私ども生きがいとしての創作活動、要となる場所が市民ギャラリーです。

現在の茅ヶ崎市の創作文化の継続発展をしていくためには現在の市民ギャラリーは欠かせないものです。

学習塾、クリニックなどの案を聞きますと、これが市民のための政治、行政ですか？・・・と考えてしまいます。むしろ、いろいろな状況のなかにあっても未来を見据え生涯学習の大事さを認識し、継続していけるように配慮する市政こそ本来の姿ではと考えてしまいます。

短絡的にこのような状態になることはとても納得できず市民として反対です。

利用者目線で市民のための行政を・・・

本件については、とても辛い、悲しい案件です。廃止案については利用者の意見を聞きおき廃止案の撤回を求めます。

#### (意見4-1)

送迎保育ステーションへの転用活用を提案します。

送迎ステーションとは、駅前などの利便性の高い場所に設置され、複数の保育園への送迎、それに伴う保育活動を行う事業です。朝や夕方に園児が在籍する園に登園するまでの間や降園してから保護者が迎えに来るまでの間に一時預かりを行います。出勤時間と保育園の預かり時間が合わずに就職できなかつたり、自宅から駅までの間の保育園に入れず遠回りしなければならない子育て世代は少なくないと思います。また、一時預かりにより、買い物時間の時短や密の回避にも繋がります。

#### (意見4-2)

送迎保育ステーションへの転用を希望します。

一時預かり保育だけでなく、近隣または市内の保育への送迎を行うことで、子育て世帯への支援及び主に母親の就労支援となります。また、駅から遠い郊外の保育施設の有効活用も可能です。ご検討をお願いいたします。

#### (意見5)

今回、初めてパブリックコメント投稿に参加します。

茅ヶ崎市政の現状認識が優先ではないでしょうか。茅ヶ崎市は市役所の立て直しから始まり直近では柳島スポーツ公園、数年後「道の駅」構想等公共施設建設が目白押しになっています。色々建設はするが、市民にやさしい、住みやすい茅ヶ崎にすることに対しては遅れています。

コロナ禍において、人口が増加しました。なぜ茅ヶ崎は名前が取敢えず有名です。

しかし、市民の生活実態は最悪ではないでしょうか。もっと市民のために税金を使う方法に変えることを節にお願いします。

そこで、今回の廃止等の件です。

各窓口センターの廃止は賛成です。各センターの収支バランス表を拝見するとセンター経費のほとんどが人件費になっています。その費用をカバーするために補助金を投入している。

窓口業務の費用対効果は最低です。税金投入する目的があるのか疑問です。廃止はすべきです。

市民ギャラリー会議室の件です。

アンケート調査を市側から発表しています。平成30年度から利用率が減少傾向になっている。この原因として、2つの要因があると思います。

①はコロナ禍が平成30年度から始まり、利用率減少は、当然ではないでしょうか。

②すべてそうなのですが、予約が取りづらいことが一因にあるのではないのでしょうか。予約をするときにはネット環境、参加人数、利用可能な曜日、等を考慮するとどうしても予約が集中してしまう。そうすると予約回数が減少してしまう要するに会議室を借りる団体の需要はたくさんある。でも供給側がそれにマッチした、入れ物を適度に供給していないのが大きな原因ではないのでしょうか。会議室を用意したから使ってくださいではいけない。もっと市民レベルにあった供給はしてほしい。このやり方では納得しません。

市側は「近隣にも類似機能を有する施設等が存在する」といっています。

民間の施設を紹介していますね、そういう事ではないですよ。市民の為の行政です。考えてほしい。

市民ギャラリーを廃止して、市民文化会館に利用者が集まることで文化活動の活発化が期待される。と市側のコメントです。これだと益々予約が取りづらくなならないですかね（予約集中）予約するにも現状では時期が重なると予約ができない。そうすると、利用率は下がらないですかね。このようなことも予約率に反映されるのではないですか。もっと要因分析をお願いします。因みに

文化会館 5室（14～82人）、市役所コミュニティーホール3室（8～36人）、男女共同参画推進センター4室（15～100人）、図書館（社会教育関係団体のみ利用可）  
⇒利用できない

これでは予約が取りづらいこと理解できると思います。職員の皆様、もっと市民に寄り添った仕事をお願いします。削減するのはこのようなことではなく余計な、及びいらない、多くの市民が望んでいない建物を建設する事ではないはずですよ。

絶対やめてください、ハードではなくソフトです。市側のやり方間違っています。

「市民アンケート調査結果」において、理解できない設問があります。

設問「市民ギャラリーの貸主を利用したことがあるか」との問いに  
利用したことがある。7%、利用したことがない。93%との結果がコメントされていた。

この設問は意味がありますか。予約する人の割合ではないでしょうか  
団体から予約する人は、一人いればOKですよ。この割合は見た人は、会議室の借りている人は少ないと思います。利用者は少ないので廃止にしても問題ないよね。と

いう結論ですよ。

「廃止して 利活用してほしい」81%

利用者意見募集結果では「市民ギャラリー存続希望」70%です。

なのでアンケートの設問が間違っている、誘導アンケートは廃止です。

職員のレベル、或いは市長の方針があり、やむを得ないのですかね。

いずれにしても市側はもっと市民に寄り添った行政を行ってください。

(意見6)

七宝教室(生涯学習)で、使わせていただいております。駅近で、設備も整っており、楽しく勉強しておりました。残念です。七宝教室に必要な設備を備えた施設を、茅ヶ崎市内に見つけるのは、大変難しいです。ワンフロアだけでも、教室用に出来ないのでしょうか?文化活動を、営利のために切り捨てない事を、心より切望いたします。

(意見7)

市民ギャラリーに替わるものとして小スペースでも展示が出来るようにしてほしい

◎駅近を最優先にし、小作品を展示できる様に有料でも可です。

◎店と共同出来る様、展覧会と一緒に考えてもらいたい。

◎会議室として使用出来ることのスペース

◎市民が集える場所

◎市民ギャラリー的なものを切に願います。

皆の意見書を何らかの形で編集して報告してください。

是非とも意見を取り入れて考えてください。

追伸

市民ギャラリーに替わるものとして市が考えて交渉してください。図書館又は近隣の商業施設等(ヨーカ堂又はジャスコや藤沢の市民ギャラリーは小田急の6階が使われています)その他ギャラリーを作ってください

(意見8)

今までの市民ギャラリーほどの大きなスペースでなくてよいので、市民のための展示会場がほしい。

運営は民間委託でもよい。

広場的なスペースで展示だけではなく、マーケット会場の様な感じて市民が集えるスペースを残してほしい。

藤沢の小田急デパート内現在市民ギャラリーの様に、便利なスペース

茅ヶ崎では、イトーヨーカドー(駅に近い場所)内にスペース(展示会場、マーケットスペース)をつくってほしい。

この意見書を有効的に利用してほしい。

すでにある方針を実現するための道具、つまり意見書をあつめたという事実をつくるためのものにしないで下さい。

(意見9)

駅に近い状態の良い場所なので、展示スペースが残せるような(有料可)場を作ってほしい。

- ・店と共存できるような展示スペースがあると嬉しいです。
- ・茅ヶ崎の文化が駅近で見られるようになれば、子供達の教育に役立つのではないかと思う。子供を育てなければ、未来は無いと思います。
- ・駅近のヨーカ堂の5階の空きスペースを市で借り上げることは不可能ですか？集客もできるし、協力して頂けるのではないか？

(意見10)

是非是非作品展示会場を駅近に欲しい!!

子供から年輩者までが発表出来る所が茅ヶ崎には無い(無くなる)!

どうか以前のようにギャラリーをお願いします。

決定する前にもっと利用者の意見を取り入れて欲しかったです。

バリアフリーの世の中、駅から車椅子で入れるところは今までのギャラリーしか無かったから、再現して欲しいです。それが出来ないのであれば、他に駅に近いところで替えられるスペースを捜して提示してください。

ヨーカ堂5階の空きスペースなど.....。

(意見11)

○今回のネスパ茅ヶ崎ビル及び萩園市民窓口センターほか複合施設において提供している市民サービスの見直しに関しては、納得がいきません。

議会の全員協議会において、行政側が説明された時点で、十分な市民の声を聞いていないにもかかわらず、この施策は絶対に実施しますと言われたと複数の議員から聞きました。

市民に対して十分な説明や意見を聞いての検討でないにもかかわらず、独断での横暴な施策を推進するという事ならば、素案に記載があるように、現在施設等を利用している人たちへの代替施設を、責任をもって提示するべきだと思います。

方針では、「市民ギャラリーについては、5割程度の利用率で推移していましたが、平成30年度から利用率が減少傾向となっており、近隣にも類似機能を有する施設が存在することや、市の文化芸術の拠点である市民文化会館に利用者が集まることで文化活動の活発化が期待できることから、令和5年9月末に廃止します。」と記載されています。

そして、市民ギャラリーの廃止の理由として

(1) 廃止の理由

ア 利用率が元々低い水準で、新型コロナウイルスまん延の影響を受ける以前からさらに減少傾向にあるため(4)ア参照)。

イ 近隣に類似機能を有する施設が存在し、廃止後の影響が比較的少ないと考えられるため(2)参照)。

ウ 文化施設を集約することで得られる効果により、市民の文化活動の活発化が期待



されるため((3)参照)。

## (2) 市民サービスの補完

ア 貸館（展示室・会議室等） 市民ギャラリーは、美術作品の発表と鑑賞の場、創作活動の場、講習会等の場を提供し、市民文化の向上に寄与することを設置目的としていますが、廃止後は、同様の目的を掲げている市民文化会館をはじめとする近隣の施設へ機能集約することとします。なお、機能集約にあたり、市民ギャラリーと立地が比較的近い施設へ市民ギャラリーの備品を転用するなど、可能な限り利用者の利便性を維持できるよう努めます。また、これら施設は、時期によっては予約希望が多く重なることも予想されますが、利用率には余裕がありますので、今後、より詳細な施設情報を発信し、多くの方に利用いただけるよう努めます。

と記載があります。

市民ギャラリーの展示室は、駅に近いためにいつも多くの市民団体が利用しており、コロナ禍になる以前は、日程を取ることも大変だった所です。今回その機能を文化会館の展示室等で賄うこととされていますが、ほんとうに市民が希望する日時に使うことができるのでしょうか。シミュレーションを実施して、大丈夫だとの確信があるとは思えません。

また、創作室の使い方についても他の施設で同じように使うことができるという確約がなく、簡単に大丈夫だろうと利用者の利便性を本当に考えたとは思えない対応がされています。

折角、学びの講座を実施し、多くの市民が文化的な活動を実施している場所を閉鎖すること自体、地方自治体の施策としては信じられません。

しかし、どうしてもというならば、その前に十分な具体的な対応措置を各市民団体に提示すべきです。それができないならば、この案は撤回するべきだと思います。

## (意見12)

市民ギャラリー創作室Bにある茅ヶ崎市所有の電気炉を他の施設に移設し、七宝制作活動が継続できるようにしていただきたい。

### 茅ヶ崎市での七宝制作活動の経緯及び要望

茅ヶ崎市での七宝制作活動は、2012年、茅ヶ崎市のまなびの市民講師であり、(公益社団法人)日本七宝作家協会の講師認定の資格を有する早野総和理事(当時は監事)が行った茅ヶ崎市の自主企画講座からスタートした。その後、自主企画講座受講者たちから、毎月継続して七宝の制作を続けたいとの要望があり、サークル「釉遊会」を発足させ、市民ギャラリー創作室Bに設置されている電気炉を使用して活動を続け、以後毎年上野の東京美術館で開催される日本七宝作家協会展に出展を続けている。

七宝芸術は、日本の伝統的な芸術文化であり、サークルの皆さんが、興味と喜びをもって活動を続けているさまは、まさに生涯学習にふさわしい活動と考えている。

また、別紙1\*日本七宝作家協会の活動の目的に示されるように、伝統芸術七宝に対する一般の理解を広げるための活動としてもサークル活動は重要な意味を持っていることから、日本七宝作家協会からの期待も大きい。

2018年には、当時超絶技巧として現代の七宝芸術での中心人物としてテレビなどで

も話題になっていた、日本七宝作家協会副会長の春田幸彦先生（当時文化学園大学准教授、現在は教授）の講演が、茅ヶ崎市立図書館で行われ、サークル会員だけではなく、広く一般市民の参加を得て、人々の関心を引いた。このような状況を踏まえても、ぜひとも茅ヶ崎市での七宝制作活動が継続して行われるよう、ご配慮をお願いしたい。

活動継続のための要件

(1) 電気炉の移設

現在活動は、市民ギャラリー創作室Bにある、市の所有する電気炉2基を使って活動している。電気炉は七宝制作のために必須で、この電気炉の移設先を探して欲しい。

(2) 水道施設を備えた流し台

(3) 七宝釉薬の調整、施釉、焼成などに使用する器具、用具の保管場所の確保

上記のうち、(1) (2)は必須であるが、(3)については、必要最小限のものに限定することによって、現状よりも備品数を削減できるかどうか検討したい。

(※については、個別団体に関する内容のため、意見からは削除)

(意見13)

今回の市民ギャラリー施設等の廃止は絶対反対です!!

(理由)・駅直結で非常に利便性が高い・高齢者が集まりやすい、ささやかな趣味の場を奪うな。・従来から創作室、展示場も設備が整っており、満足

・市内の公共施設全般ももっと見直してください。

・茅ヶ崎市全体としての財政事情の悪化は理解できますが・・・(従来・過去のハコモノ行政のつけが今になって現れ、市民サービスの低下は納得出来ません。)

・市内の公共施設等全般を見直した上の今回のギャラリー廃止なののでしょうか？ただ一方的な小さな施設だけを狙ったトカゲのしっぽ切りとしか理解できません。

※市内の公共施設は(文化教育関係)

公民館5か所、コミュニティセンター12か所、スポーツ施設(体育館、プール、スポーツ広場等)(※文化会館、美術館、図書館除く)他、記念館、人物館、勤労会館、老人福祉センター等々

以上の公共施設全般を見直しての廃止(案)でしょうか。

・素案のデータ(利用減)は、コロナ禍で3年余り、感染予防にて利用を控えているのが事実。2~3年後に平常に戻った状態でのデータで再検討下さい。

・最悪の場合使用料の値上げも選択肢では・・・。

(結論)市民の多様な意見を的確に把握し、市民のサービス向上と行政運営をお願いします。

(意見14)

マイナンバーカードが普及してきたので、住民票等の発行業務を行う部署が廃止されるとあります。ですが、駅前窓口は夜間だけでもいいので残して欲しい。

文書取得の他に各部署へ用事がある人は日中に来庁しますが、文書だけ欲しい人は会社帰りの平日夜間に立ち寄りたいたいと思っています。

(意見15)

市民ギャラリーと市民窓口センターどちらの廃止にも反対です。

市民ギャラリーは、利用した人でなければ、その価値はわからないと思います。市の調査でも、存続に関する意見を表明した人のうち7割が存続を希望するとなっているわけですから、その意見は最大限尊重されるべきだと思います。それに対して、市民ギャラリーを使用したことのない人を多く含む無作為抽出の市民アンケートの結果を対置して結論を導こうとすることには、行政の市政として誠実さを欠くと思います。

市民窓口センターは、利用者が減っているとしていますが、茅ヶ崎駅前と萩園をあわせて3万件ちかい証明書等の発行が1年間に行われています。開館時間が限られていたりとか、対象として想定される利用者の数とかを考えれば、決して少ない発行数ではないと思います。市民は証明書をとるための時間や場所にさまざまなニーズがあるわけです。そこにきめこまかく対応しようとする努力を続けていただきたいと希望します。また廃止すれば、国が進めるマイナンバーカード利用促進になるかとも言っていますが、不便さを増やすことによってその方向性に導こうとするのは、やはり行政としては不誠実であると思います。

市民ギャラリーと市民窓口センターどちらの廃止も、その方針の撤回を求めます。

(意見16)

全体としては良く纏められており一市民としては納得のいく内容になっていると思います。是非実現出来る様に推進お願いします。気になった箇所を数点記載しますのでご検討下さい。

P3 多目的室の扱いが記載無いようですので記載又は補足も願います。

P6 今後作成する施設一覧表に記載する予定ですとありますが、いつまでに作成するのか明記願います。

P6 高砂コミセンが記載されていますが、同様に駅から程近い茅ヶ崎コミセンも記載検討願います。

P13 (エ) 概算経費の算出基準、方法を提示願います。

P14 の(エ)も同様に。

P22 イ(ア) 返却ポストの利用は良いのですが、今でも時々返却本が溢れて返却箱の上部に載せてある事がありますので返却ポストの容量アップも合わせて検討願います。

P22 ボックスサイズを超える資料は貸し出しできないのは理解できますがその旨ネットで予約時に分かるように改善願います。

P26 撤収にかかる費用 ネスパ茅ヶ崎ビル全体とありますが、3階~5階の事であればそのように記載して欲しい。全体と記載があると他の階も含むのかと誤解してしまう。



(意見 17)

『茅ヶ崎市公共施設等総合管理計画（改訂版）関係者のみなさま』

独立し都心の企業で働く息子や彼の友人達が、茅ヶ崎市から本籍を移さないのは、便利で人の繋がりを大切にし、文化的な活動ができる茅ヶ崎にいつか戻りたいからだと言います。

都心で働く多忙な母親が茅ヶ崎市の生涯学習で始めた、月1回の七宝焼きを続け芸術的なセンスを磨き、齢を重ねても茅ヶ崎は有意義に生きる

魅力がある街のようだからと息子達は言っていました。

若い世代は親世代の生き方をよく見えています。

変化の多い社会では生き抜くためのコストが必要です。

私たちは人間です。いつの時代もコミュニケーションは大切で、いざというときに助け合えるのは人です。人が触れ合い働くだけでなく、生きることを楽しむ場があるから、困難な課題に立ち向かい生きる意欲をキープできています。

講師・設備・アクセス 全てを合わせて人は集まり 交流が保たれます。

代わりの場はあるかもしれませんが、条件が変わることで通え無くなり、設備が整わない事で安全安心に制作ができず、クリエイティブ思考をそこないます。今と同じ条件の文化活動の場が使えなくなることは培ってきた人の和も、生きる楽しみも失います。

関わらない人からみれば大きな問題に感じないかもしれませんが、朝早くから夜遅くまで働いて、寝に帰る茅ヶ崎での楽しみが無くなることは、茅ヶ崎に住む意味もなくなると考えています。

市民の楽しみや利便性を、コスト削減を理由に利用者に相談なく奪う市政で、将来安心して有意義な人生を過ごせるのか？と、疑問が湧いてきました。

毎日一生懸命働き月1回の楽しみを市民から奪うことを、それでも実行されますか？

人生100年時代の今、日本の美術工芸の伝達を一生懸命されている先輩方の活動の場を減らすことは、コスト削減を理由に

優先的に行う必要があることでしょうか？

生き甲斐は人により違います。でも「ここでしかできない」「ここで人の繋がりを大切に生きています」人もいます。

息子は今回の市の政策で本籍を茅ヶ崎に残すか否かの決断をすると話しています。

茅ヶ崎は人の縁や繋がりを重視する街、そして文化芸術を育み平和を大切に

する街だと信じています。

市民活動の場（ネスパ茅ヶ崎ビル）の現状維持を心からお願いいたします。

(意見 18)

きっかけは市報でした。

「七宝焼体験教室」

応募して初めて作ったのは、透胎七宝のペンダントヘッド。ご指導下さった先生が、

定期的な教室を主催されていると伺い、希望者の列に並びました。明治時代に日本で作られた超絶技巧の七宝焼が大好きでしたが自分が作れるとは思いませんでした。先生に教えていただき、初心者でもいろいろ体験し、望外な事に「日本七宝作家協会展」にも出品出来ました。これも七宝焼の窯を備えた場所があつての事です。この場が失われたら…言葉もありません。今一緒に作品を作っている仲間は市外から来ている方も多いです。七宝焼をどうか続けさせて下さい。よろしくお願いいたします。

(意見19)

市民窓口センターの役割とはなんですか。単に証明書等の発行や市税の収納だけでいいですか。市政に関する刊行物や行政資料を備え、情報提供に努めることではないのですか。十分に活用できなかった市の怠慢を市民に押し付けないでください。マイナンバーカードの利用促進は、国の施策であり、カード取得は個人の判断であり、市の行政サービスの廃止とは、別問題であり、廃止の理由にはならない。

(意見20)

○当パブコメ（意見募集）のPR（啓発）を十分に行って欲しいと思います。

- (1) 広報ちがさき配布 令和4年7月4日 実施期間 4年6月22日（水）～7月21日（木）ちょっと遅いのでは。これでは意見十分に出しにくい。実質15日間 それより短いとも思う。
- (2) 今回のパブコメ表紙は例回のパブコメと少し異なり、見逃してしまうような気がします。
- (3) 広報の記載も小さく、見逃してしまいそうです。
- (4) 広報タイトル「市民ギャラリー等の利活用」では、当パブコメ内容を誤解し応募しない人も居るのではと思いたくなる。
- (5) 茅ヶ崎駅前市民センター及び萩園窓口センターの廃止も記したり
- (6) 廃止等方針決定後、ネスパ茅ヶ崎の今後の利活用に関する方針は実施（別）にしたらと思う。
- (7) これでは形式的にパブコメを実施し無意味に思う。
- (8) 出来るだけ多くの市民の声を聞けるよう実施してほしい。
- (9) こういう形式でパブコメ実施するのは税の無駄遣いにならないか。
- (10) 市議会ではアロハトークを今年度実施しております。当パブコメも説明会を実施して欲しかった。
- (11) 例回のパブコメ応募者少ない為、増える（増加）よう工夫して欲しい。

○持続可能な行政運営を行う諸行政を実施することは必要と思います。その判断をするためにも、全市民のアンケート調査等を実施し、また、懇談会や意見交換会や説明会を実施後、当事業をすすめる必要があると思う。実施したアンケート回答率13.1% ずいぶん低いです。意味少ない。

○マイナンバー利用推進につながる事が想定される。P28 メリットとありますが、そうでしょうか。

1. 今マイナンバーについては強い不信
2. 分からない等々からまだ取得者50%に

も達してないと聞きます。市民に国民に強制するのでしょうか。私は取得していますが・・・そしてネットの故障からスマホも使えない時あり、高齢者は使いづらい。若者はTEL（公衆電話）を使えない・・・外国からの情報もれ、不正アクセスを心配している人もいる・・・諸々種々のことを考慮して進めてください。

○国は財政のことを言えば負債（借金）で首が廻らない状況で、防衛費増額、物価高対策、ウクライナ支援、コロナ対策様々なことを実施しています。当市も市民に今何が必要か考えて行政をしてください。前途のアンケート等を含め市民要望を十分聞いて行政を実施してください。

○東海岸南・中海岸はじめ多くの市民が今でも市役所・窓口センターへ行くのは非常に多くの時間がかかります。市役所だって車でもバスでも徒歩でも30分以上かかります。車だと小田原・逗子まで行けそうです。そのことを考えてすすめて下さい。

○平塚市、藤沢市、鎌倉市・・・多くの県下の市で茅ヶ崎以上の機能のある行政センターが多くあると思うのですが、他市はどうなっているのか。どう市として考えるか教えて下さい。

○駅等に窓口センターがあり、また近くに行政センター等がある市も多いと思いますが、他市はどうなってますか。そのことをどう考えますか。

○「…センター」とか呼称したり、「市総合管理計画」として策定しているのに、個々バラバラに課ごとに策定しているのは整合性とか矛盾してるとか総合性がなく感じられます。総合的に担当部所はないのですか。総合性なく感じられる。

○先にも書きましたが、廃止にかかるメリット・デメリット（まとめ）克服した上で実施してもらいたい。メリットの中にも人権侵害と思われたら関連することもあると思う。解決して実施してほしい。

○R4.7.16 市役所駐車場長時間待ち（長蛇の列）（車道まで）このことも関連してくると思う。このこと解決したり（考慮）してすすめて欲しい。

○（1）茅ヶ崎市は今人口が増えたり、地価が非常に上がった（日本）していると聞く。P1背景及び目的と矛盾（相反）していると思う。もう一度現状をよく分析して進めて欲しい。

（2）市民ニーズも再検討した上で進めて欲しい（前記あり）

○P26 他 財政上のみでなく市民ニーズ含め考えて。なんでもかんでもその為に廃止しないで。

#### （意見21）

- ・「長寿命化の推進」を安全安心な市民サービスを目標の初めにかかげられていることが、市民ギャラリーが廃止されることとは、結びつかない。
- ・「平成30年から利用率が減少傾向となっており」というのは、コロナ禍の下では廃止の理由にしてはいけない。
- ・市民ギャラリー廃止の理由 イ に「近隣に類似機能を有する施設があること」を記していますが、収容人数や施設でそれを満たす所は無い。創作室については、代替場

所が無い。

- ・ウの市民文化活動の活発化が期待できるどころか、文化活動の衰退を招くことになる。
- ・集約の効果は集中化させることにより、分散化させることが大切である。駅周辺は廃止できない。一番便利だからである。
- ・（５）の市民アンケート調査結果について（令和４年２月）  
利用したことがない人が 93%いた中の 81%が廃止しても良いとした内容は調査自体がおかしい。利用したことがない・・・ということは、どんな場所か知らない訳だから、本来は答えられない内容なはずである。

（意見２２）

市長、市議会の先生方、市民ギャラリー廃止について、一市民として又ギャラリーを 30 年以上利用している者として、85 歳になった今も毎回楽しみにしています。足、腰が痛いながら、バス駅前のギャラリーで若い方と一緒に絵を書いていることが幸せです。この幸せをうばわないでください。他の場所にうつれとの事、うつる場所は探してもありません。ギャラリーをとり上げないで下さい。

私事ですが、一日中どこにも行かず、ボーとして、家に居ろと云うのですか。90 を過ぎた人も居ます。皆年をとってもがんばろう！と絵を書いています。我が楽しみ、これっきりですか。市長さん、お金が大事ですか。市民の心の豊かさ、楽しみが大事ですか。もう一度、考え直してください。

（意見２３）

会員の半分が 80 才以上のため、足の具合が良くない人もいます。

駅からすぐの市民ギャラリーは、大変便利で助かっています。又、予約方法や納金などとても良いです。場所により方法が異なるので、統一があれば尚良いです。

（意見２４）

私はネスパ茅ヶ崎ビル 3F 会議室[A・B]を利用しています。月/1 回（火）午前  
ネスパ茅ヶ崎ビル利用のメリットは、駅直結で利便性があり、高齢者、障害者、市外の方が利用しやすい事です。市財政の御苦勞もある事でしょうが、市民（高齢者、障害者）の楽しみも考慮して、文化生涯学習活動が続けられるにふさわしい場所として、ネスパ茅ヶ崎ビルの一部（ワンフロアー）を残す事も考えていただきたいと思いをします。

（意見２５）

年齢も高いので茅ヶ崎駅の近くに会場があるのは大変便利でありがたく、頭の体操をする事に励みがありました。確かに他の場所もありますが、利便性が良いのでなくさないで下さい。

(意見26)

いつも市にはお世話になっています。しかし、今回の市民窓口センターの廃止については大変残念に思います。市でリーズナブルな値で室をお貸し下さっている事に大変有難い事とっておりましたのに、これからはどこか探さなければなりません。どうぞ廃止はとりやめて下さい。

(意見27)

長い間「市民ギャラリー」を利用させていただき誠に有難う御座いました。

この度使用出来ないとのこと、非常に困っております。このような施設のお陰で、私達高齢者は元気に学び明日への活力となっております。どうぞ中止をお考え下さいますよう、心より強く強くお願い致します。茅ヶ崎の文化を守っていただきたいです。学びの場は生きる力です。

(意見28)

市民ギャラリー（会議室、創作室含む）廃止に反対します。

ギャラリー、創作室、会議室等の廃止の理由として利用者数の減少をあげていますが、そもそも利用者数の減少は新型コロナウイルスの影響によるものです。最初に何か月か閉鎖されたのが始まりで、感染症の終息が見えない中では利用者数が少ないのは当たり前のことと考えます。

感染症が発生する前は、ギャラリー（会議室、創作室も）を確保するのが大変なくらい、くじ引きへの参加者が多く希望の月・日にとれないことは何回もありました。従って、感染症が終息すれば依然と同様、利用者数も前に戻ることが当然予想されます。コロナを無視した、利用者減を理由にするのはアンフェアと考えます。

会議室、創作室については主なその利用者が比較的高齢者に偏っているのは、若い人はその多くが東京、横浜をはじめ他市の企業へ勤務しているのに対し、ほとんどを市内で過ごしている高齢者が主に利用するのは当然な成り行きです。そして、いま働いている人々もいずれはリタイアして自分の趣味等に時間を使うことが当然考えられますが、その時に便利な場所にある会議室等を利用したくても廃止されてしまえば、困ってしまうと考えられます。

ほとんどの市民は今の住まいの住所の範囲で歳をとっていくと考えるのが普通です。

人は高齢になるに従い足腰が弱くなり、公共交通機関に頼らざるをえなくなりますが、バス停とかから遠くにあるような会議室等では利用困難になり、それでは高齢者はだまって家に引っ込んでろということになりかねません。又、会員には現役の人もおり、土日に会を開催する必要がありますが、場所的に今のように便利なところはありません。ギャラリー等の利用状況についてアンケートを取ったようですが、回答者は当然非利用者が多くなり、深く考えない回答が多くなると考えられます。従って、一般論的にやるのは平等を装っているずるいやり方であり、適切とは言い難いと考えます。

お客様にとっても、ギャラリーの所在場所としての利便性は優れています。駐車場



がないため搬入・搬出は重い作品を手にもって行う必要がありますが、買い物等のついでに気軽に寄っていただけることを考えると、その労力に十分に見合うものと考えます。

また、茅ヶ崎市博物館を開設すると聞きましたが、これこそ箱もの行政そのものであり、リピーターを期待できない施設となることが十分に考えられます。先般茅ヶ崎市民俗資料館の旧三橋家住宅、旧和田家に行きましたが、旧三橋家については表側には南京錠がかけられ、近所の人に聞いて、浄見寺の敷地内を通過して路地からやっと敷地に入ることが出来ました。しかし、家の中には入ることが出来ず、朽ちるに任せるといった状況に見えました。ましてや茅ヶ崎市博物館を目的に観光で訪れる人がどれほどいるのでしょうか。

このような状況を考えると、常に定期的な利用者がいるギャラリー等とどちらが重要かわかると思います。

最近の茅ヶ崎市のやり方を見ていると、長期的な視野に立って市民生活をどのように導いて行くかよくわかりません。生涯学習とかありますが、そのような考え方があるとは思えません。市民一人一人の側に立った、尊敬される市政運営を期待します。

#### (意見29)

人物画を描く会に入れていただいてから、20年程になります。決められた時間内に描く緊張した時、絵を描くおなじ趣味をもつ方とお友達になりました。この会がなくなりましたら、どんなに寂しいことになるでしょう。どうか、こういう場所をなくさないで下さい。

#### (意見30)

1. 市民ギャラリーは、充実した機能、十分なスペース、アクセスの至便さにおいて、他の施設にない大きな価値があります。とりわけ創作室は貴重な存在です。茅ヶ崎市が誇る高齢化時代の生涯学習支援施設として、ぜひ存続させていただきたく、強く要望します。

2. 財源の補填として、文化施設使用料の見直し、文化施設呼称への命名権の活用もご検討ください。

#### (意見31)

今市民窓口や会議で使われている所は、代替物件が明確でない限り、継続をお願いします。

#### (意見32)

南口の人口の多さ、今も増え続けている中、駅前窓口がなくなるのは、「ありえない!!」と思う程驚きました。自転車、徒歩で駅まで出てくる大変な方々、さらに駅から北へ向かう事。バスであれば、駅から再び。タクシー代もバカになりません。高齢者、子育て世代にとっても辛い知らせです。廃止に大反対です。

(意見33)

七宝サークルの活動で市民ギャラリーを利用させて頂いています。

この活動で七宝焼の素晴らしさや奥深さを知り、まだまだたくさん学びたいと思っています。

しかし市民ギャラリーが来年9月に閉鎖になることが決定しているそうですね。

もし代替り場所が見つからない、駅前ではなくなるとなると、サークル活動を続けるのが難しくなる仲間もいらっしゃいます。

少しずつ揃えた道具や材料も無駄になってしまいます。

是非今の場所で続けられるようにして頂きたいです。よろしいお願いいたします！

(意見34)

今回提案されている取組は、今後の茅ヶ崎市の状況を踏まえた上で、とても有意義、かつ、今後必ず必要になってくる取組だと思います。

素案に書かれている、人口減少・少子高齢化・公共施設等の老朽化を踏まえると、茅ヶ崎市が全ての公共施設を維持するというのは、私のような素人が考えても、とても難しいことだと理解できます。

多くの公共施設がある中で、選択と集中により、限りある資源を有効に使い、公共サービスを維持することが、市役所の責務です。そのためには、様々な意見があったとしても、その目的のために、確固たる意志をもって、今回のような一歩踏み込んだ施策を実施して欲しい。

施設利用者からは、恐らく反対意見が出ると思います。他の街でも反対運動で公共施設の見直しがとん挫している報道を見かけることがあります。しかし、市民全体からすれば、ほんの一握りの意見です。市民アンケートの結果でも、それは明らかです。市民全体の意見として、選択と集中が正しいという意見にも関わらず、少数利用者の意見だけにひっぱられた意思決定は絶対にしないで欲しい。

少数意見の反映によって、公共施設の維持が出来なくなり、以前あったトンネル事故のように、最悪の場合、市民の命を危険にさらすようなことは絶対にしないでください。

今後の取組に期待しています。応援しています。

(意見35)

萩園市民窓口センターは年々証明書等発行件数が減少していますが、全体で見ても平成29年度と比較しても証明書等発行件数は減少しています。

萩園市民窓口センターは平成29年度と比較しても全体に占める割合は0.1%減であり、まだまだ存続を必要としている住民は多いのではないかと思われる。

萩園地区は平塚市と接し、茅ヶ崎市中心地から離れており市民窓口センターが存続することを望んでいる住民が多いことと思います。

これまでの市民窓口センター廃止は3か所ありますが、小和田市民窓口センターは辻堂駅前出張所が開設され、南湖市民窓口センターはハマミーナ出張所が開設され、香川窓口センターは香川駅前出張所が開設されていますが、萩園周辺地区の住民はハ

マミーナ出張所か香川駅前出張所に行くこととなります。コンビニでマイナンバーカードで印鑑証明書等の交付を受けることは可能ですが、高齢者が多く、また高齢化が進みカードに馴染まないため存続を希望します。

コンビニ証明書が取得できると言っても、印鑑証明書と住民票のみです。萩園市民窓口センターでは現在7種類の証明書取得が可能であり、明らかに住民サービスの低下と言わざるをえません。

施設ごとの証明書発行件数ですが、その他除き年間1万件以下は、萩園市民窓口センターと小出支所のみですが、この2地区は、出来れば来てほしくない施設（火葬場、ゴミ焼却所）があり、住民感情として市としての配慮がほしいと思います。

と言うことで、今後の利活用となりませんが萩園市民窓口センターの存続を切に希望します。

#### (意見36)

- ・市民ギャラリーは、市内のどこからでも行きやすく、駅からバリアフリーで利用できる大切な施設です。存続を希望します。高齢者もお子さんと一緒に利用しやすい。この条件に代替の施設はありません。
- ・利用が減っているなら、増やす努力こそすべきです。
- ・利用料を少し上げて良いのではないかと考えます。

#### (意見37)

廃止反対です。

市民ギャラリー施設の運営を自主管理制度（外部民間業者）に委託したらどうですか。

#### (意見38)

◎現在の市民ギャラリーは、充実した機能、スペース、アクセスの良さ等において、他の選択と比べ、圧倒的な価値がある。

◎4階の展示会場及び5階の創作室の利用者の多くは、ここ数年のコロナ禍では、色々な面で我慢を強いられ、体力・気力が著しく影響を受けたのではでしょうか。このタイミングで、今回の方針を実行されようとしていることは理解できません。

◎市民の多くが後期高齢者に突入したときに、これに合わせるように、なぜ生涯学習支援施設を縮小しなければならないのか。削除すべきところは、ほかに多々あるはずです。

◎見直し案の中で、会議室の代替え施設は他にありそうですが、とりわけ5階の創作室は、代替えとして計画している他の施設の広さ、アクセスの面で問題があります。例えば、(利用者は、創作のための色々な用具を持参しており)美術館へのアプローチの点、青少年会館への国道1号線からの道幅の狭さです。

(意見39)

- ・市民ギャラリーは、駅に近くどこからでも来やすい。
- ・子どもによる作品展示なども、減免などを使うことでやりやすい施設で、存続を望みます。
- ・代替として文化会館が挙げられていますが、市民ギャラリーの展示室を金土日の3日間、約80点の壁掛け作品を出展するとした場合で比較します。

資料では、減免と付帯施設について触れていません。これまで社会教育関係団体の場合、社会教育につながる活動をし、貢献してきた団体であるはずなのに負担が、2倍以上に激増します。なぜ、こういう点を検討しないのですか？資料にある比較は、一件安くなるように見えます。知らない人は、これで良いとみえるかもしれませんが、現実的ではありません。

市民ギャラリー展示室 134㎡ 3日間 28260円  
14130円

(社会教育団体は50%減免の為)

文化会館展示室 AB 130㎡ 3日間 24630円と、付帯設備 ライト30、椅子10、机5の場合、

1日約2500円×3日間=7500円で32130円

展示室の存続、または激変緩和のための減免をしてください。

他の会議室も、減免について触れていないので同じくらいの料金とのことですが、減免で利用できた団体は、倍増になります。

- ・コロナ禍によって、活動できない時期が続き、文化会館の減免もなくなり大変な時に、これ以上の負担を急いで作ることに反対します。

(意見40)

いつも利用させて頂いております。駅近で高齢でも使いやすく、このような場所が他にありませんので、ぜひとも存続をお願いします。

(意見41)

ソロプチミストの各月の例会場として、利用させて頂き、大変助かっております。来年9月より会場を使えなくなるかもと伺い、新しい例会場を探す事に、大変困っておる次第です。駅近で大変利便性の良い会議室で是非、継続して使わせて頂けますよう、切にお願い申し上げます。

(意見42)

私は市民ギャラリー(展示室)、市民文化会館(改修前の展示室)、市美術館(展示室2)でそれぞれグループ展を主宰したことがあります。

その経験でいえば、茅ヶ崎市には、市民ギャラリー(展示室)を代替する施設はありません。茅ヶ崎市民にとって市民ギャラリー(展示室)は必要です。

会議室・創作室の統廃合は認めますが、市民ギャラリー(展示室)は、「ネスパ茅

ヶ崎ビル」の最上階を改修し、移転させて続行することを提案します。

1 ページ 1 背景及び目的 18 行目から

市民ギャラリーについては、5 割程度の利用者が推移していましたが・・・

展示室、創作室、会議室を全部合わせて 5 割といているが、3 室別々に利用率を提示すべきである。廃止を前提とした資料である。

近隣にも類似機能を有する施設が存在することや・・・

会議室や創作室は類似機能を有する施設はあるかもしれないが、展示室はない。市民文化会館展示室はホールであり、ギャラリーではない。展示をしても隣でセミナーや展示即売会をされては困る。予約方法もギャラリー用ではなく、多目的ホール用で使にくい。

市美術館の展示室 2、展示室 3 は、市美術館の企画優先で市民が利用できる日はほとんどない。（特に展示室 2）

5 ページ 3 市民ギャラリーの廃止

(1) 廃止の理由

ア 展示室の利用率は低くない。低いと思うならば平塚市美術館市民ギャラリーのように空いている日を公開（平塚市はチラシを作っている）し、再募集すべきである。茅ヶ崎市はもっと努力をしてほしい。

イ 展示室は近隣に類似施設はない。会議室の代替施設はあるが、創作室の代替施設は遠すぎる。駅の近くの会議室を創作室として使えるように改修すべきである。

ウ 駐車場及びエントランスロビー側のガラス貼りについては評価する。

1000 人を超えるイベントホールの客層と絵画等の展示室に来る客層は全く違う。

市民同士の交流の場がセミナー・展示即売会（声が聞こえる等）と隣り合わせでは集約効果ではなく、逆効果である。文化を理解していない方の一方的な言い分である。

10～11 ページ

(5) 市民アンケート調査結果

市民ギャラリーの貸室でアンケートをとっているが、展示室、創作室、会議室別でアンケートをとるべきであり、市民全体では意味がない。それより施設別の利用経験者を対象とすべきであった。円グラフ、棒グラフなどを提示し、廃止を前提とした資料である。

(6) 利用者意見募集結果

このアンケートも展示室、創作室、会議室別にアンケートを行うべきであって、もっと多項目に行う必要があった。(5) では円グラフ、棒グラフで提示し、

(6) ではなぜ行わなかったのか。存続希望が視覚的に見えてこない。廃止を前提とした悪意に満ちた資料である。

◎このパブコメは、「市民ギャラリー編」と「市民窓口センター編」を分けるべきであった。たまたま「ネスパ茅ヶ崎ビル」に「市民ギャラリー」と「茅ヶ崎駅前市民窓口センター」が入っていたためこのようなことになったのだと思うが趣旨が違う。

特に「市民ギャラリー」と「萩園市民窓口センター」を同じパブコメで行うのはおかしい。



### ◎萩園市民窓口センター

萩園市民窓口センター利用者がハマミーナ出張所へ行くにはあまりにも遠すぎる。そのためアンケートなどを実施し、廃止になった場合、どのような方法で代替するのか実態を調査し、そこから決定することを提案する。とりあえず令和5年9月末日の廃止の凍結を要望する。それが無理ならば、半日又は隔日の窓口業務とし、萩園市民窓口センターの続行を考えてほしい。

#### 13 ページ～ 4 市民窓口センターの廃止

##### (1) 廃止の理由

平成23年度・・・

1. 小和田市民窓口センター→辻堂駅前出張所
2. 香川市民窓口センター→香川駅前出張所
3. 南湖市民窓口センター→ハマミーナ出張所
4. 萩園市民窓口センター→ハマミーナ出張所

1～3については納得できるが、4のハマミーナ出張所ではあまりにも遠すぎて、統廃合とは言えない。利用者を見殺しした乱暴な決定である。

現在、萩園市民窓口センターでは、7種類（市HP確認）の証明書等が発行されているが、マイナンバーでのコンビニ交付サービスの対象は、現在、住民票と印鑑登録証明書の2種類だけである。戸籍謄（抄）本は、今後もコンビニ交付サービスの対象になっていない。（市民課確認）

マイナンバー取得者は現在、約46%、コンビニ交付サービスで利用できるのは、住民票と印鑑登録証明書だけである。

そのため、萩園市民窓口センター利用者の半数以上は、恩恵を受けられない。（特に高齢者）近年、利用者は2.5%を維持し、多くはないが減少はしていない。コンビニ交付サービスがあるからという理由で、本当に萩園市民窓口センターを廃止してよいか疑問である。

#### (意見43)

令和4年5月に初めて廃止の話を目にし、6月には利用している代表者がパブリックコメントを出し、現在に至るが、この話を各方面の方々に伺う限り、この計画は既に、以前から進められており、令和5年10月には撤去の作業に入り、貸付する業者を決定するという。怒涛の計画推進のルールを私達一般の市民を唾然とさせ、何も出来ない様な無念さを感じた。このような市の政策の推進のルールと、進め方は今後、市政に不信感を持ち、とても残念な気持ちにさせられた。

#### (意見44)

市民ギャラリー、駅前市民窓口センターをちょこちょこ利用しております。本庁まで行かなくて済むし、市民ギャラリーは市外から来る人に便利です。残して下さいように！

(意見45) (令和4年10月7日追加)

公的な役割の減縮についてどこの文章にも枕詞のように、「少子高齢化」を理由としていますが、市民ギャラリーに関していえば、成人期の生涯学習に利用されている施設であることから、むしろ高齢者人口の増加に視点を向けて、健康寿命を大事にする方向での活用に力を入れる必要がある。

茅ヶ崎市は、コロナ禍でも人口は社会増の傾向にある。利用率の低下はコロナ禍で、一般的な傾向とみると今後の利用率の推測の参考にはならない。

市民ギャラリーの展示室は、駅からのアクセス、利便性から小さいサークル等の利用には好評である。私たちの経験から、日頃美術鑑賞になじみがなくても、駅近くに出かけて看板を見て立ち寄る鑑賞者も多く、市民の文化向上に役立っている。

また、廃止となったら市民活動の場として創作活動ができるところが限定される。

市民ギャラリーの創作室は中央公民館的な要素があって、創作室は市内で他で代替できるところはない。制作室は他市にも例が少ない、貴重な財産です。

代替施設の確保はできません。

美術館の製作室、海テラスの製作室、青少年会館の工作室なども静物や人物モデルを囲んでやる活動の広さを確保できない。廃止は市民の創作活動を阻害するものです。

公的な施設が一か所に集中すると、やむなくほかの用途に使用されたとき活動が停止されてしまう。

昨年文化会館が予防接種に利用された期間、展示室の使用が制限された。

市民ギャラリーの展示室の利用は年間計画で考える際、文化会館と比べ判断する期間が短く、計画の都合を調整しにくい。作品展示などの利用は申し込みに期間(年単位)が長くなれば利用が広がると思われる。

駅近くの会議室は、市内のどこからの参加者にも交通機関の利便性から有用である。

公共施設は災害時など、3.11の経験でも証明されているように交通機関のストップで足止めされて帰宅困難な人たちの一時避難に有効であった。